



第937号 ミニかわら版

令和7年1月15日
(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

ヤマダ総合公認会計士事務所
代表 山田良平

〒124-0012
東京都葛飾区立石 1-12-11 ヤマダビル
TEL:03-3694-6091
FAX:03-3691-6680

大阪・関西万博 来場意向は伸び悩むも、リピート意向では上昇傾向

株式会社三菱総合研究所(以下、MRI)は、本年2025年4月13日から10月31日までの184日間にわたって開催される大阪・関西万博に関して、全国を対象として独自の意識調査を行い、昨年12月にMRIのホームページでその調査結果等を公表しました。

この調査は、MRIが2021年4月から、全国における独自の意識調査を半年ごとに計8回にわたって実施をしてきているもので、MRIではさらに、開催半年前にあたる昨年10月に全国の状況を調査した上で、来場者確保に向けた取り組みの方向性について検討をし、その結果を活かし、2025年大阪・関西万博事業の機運醸成に貢献します、としています。

公表されている調査結果の概要としては、まず、万博への関心は、全国で前回の調査(2024年4月)に比べて横ばいとなり、来場意向は微減となりました。

一方、来場意向者のリピート意向については、上昇の傾向にありました。さらに来場意向者に対して予定している来場回数について尋ねたところ、「2回以上行く」と回答した人が全体の18.8%となり、前回調査の15.0%より3.8ポイント増加しました。このことから、来場者の約5人に1人が開催期間中に2回以上来場する可能性があるということになります。

次に、来場意向者の年齢層では、若年層ほど「2回以上行く」と答えた人が増加していました。なかでも20歳～29歳では、前回の調査から14.2ポイント増加して29.4%となっています。

MRIは、全体的な関心・来場意向は伸び悩む中で、来場意向者では若年層を中心にリピート来場を予定する人は増えており、万博に期待感のある層とそうでない層の違いが明確になっているといえる、としています。

*調査の詳細結果等はこちらからご確認いただけます。

「2025年大阪・関西万博 全国の関心・来場意向伸び悩むも、リピート意向は上昇(株式会社三菱総合研究所)」2024年12月23日

<https://www.mri.co.jp/news/press/20241223.html>

